

『知をつなぐ、付加価値の創造』

最先端の知識や技術だけが、JICEの伝える日本の知ではありません。日本式(日本スタイル)の企業文化、高い公共倫理、高い環境意識など、日本が経済大国として発展できた理由の様々な側面を知ってもらうことも重要なポイント。そこで、訪日した人々が日本の文化的長所に気づき、自国・地域の課題解決のための付加価値を創造できるプログラムになるよう力を注いでいます。



『世界をつなぐ、ネットワーク』

国内に6の本部・支所を展開するJICE。研修受入先、国際交流の場は日本の各地域に広がっています。また、海外のプロジェクト事務所では、14の国に事務所を開設。国内や海外にネットワークを形成しています。

本部 〒163-0716 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号 小田急第一生命ビル16階 大代表 TEL.03-6838-2700 FAX.03-6838-2701

支所

- 北海道支所 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル4階 TEL.011-200-0921 FAX.011-200-0931
- 東北支所 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目5番1号 オーク仙台ビルディング6階 TEL.022-223-2180 FAX.022-223-2061
- 中部支所 〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-7-2 加賀ビル4階 TEL.052-201-0881 FAX.052-201-0886
- 関西支所 〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町5-10 茨木大同生命ビル2階 TEL.072-624-8686 FAX.072-624-8681
- 九州支所 〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 アジア太平洋インポートマート(AIMビル)7階 TEL.093-512-3620 FAX.093-512-3625

プロジェクト事務所

- アラブ首長国連邦 #1009, C2 Tower, Al Bateen, Baynouna St., P.O.Box 26423, Abu Dhabi, United Arab Emirates
- ウズベキスタン A1 block A 4th Floor, International Business Center, 107B, Amir Temur Street, Tashkent 100084 Republic of UZBEKISTAN
- カンボジア Unit No. 306 of Aura Condominium-building #87, Street 63, Sangkat Beong Rang, Khan Daun Penh, Phnom Penh, The Kingdom of Cambodia
- キルギス 2nd floor, 109, Turusbekova Str., KNU, Bld. 7, 720033 Bishkek, Kyrgyz Republic (Kyrgyz Republic- Japan Center for Human Development)
- スリランカ No.93 A 2/1, 2nd floor, Thimbirigasyaya Road, Colombo 05, Sri Lanka
- タジキスタン 1st Floor, Agency of the Civil Service under the President, 33 Said Nosir str., Postal Code: 734003, Dushanbe, The Republic of Tajikistan
- 中国 中華人民共和国北京市朝陽区建国門外大街甲24号 東海中心606号室(郵便番号100022)
- ネパール Ground floor, Trade Tower, Thapathali, Kathmandu, Nepal
- バングラデシュ L-261, The Pan Pacific Sonargaon Hotel, 107, Kazi Nazrul Islam Avenue, Dhaka-1215, Bangladesh
- フィリピン Unit 2F-1, Island Plaza Salcedo, 105 L.P. Leviste Street, Salcedo Village, Makati City, Philippines
- ベトナム 3rd floor, VJCC, Foreign Trade University, 91 Chua Lang, Dong Da, Hanoi, Vietnam
- ミャンマー #141-145, 6(A)/2, 6th floor, Bo Aung Kyaw Street, Kyauktada Township, Yangon, Myanmar
- モンゴル Room #201 Mongolia-Japan Center Bldg., University Avenue, Sukhbaatar District, Ulaanbaatar City, Mongolia
- ラオス 1st floor, Chao Anouvong Stadium Building (former National Sport Committee), Ministry of Education and Sports, Vientiane, Lao P.D.R.

『未来をつなぐ、コミュニケーションのプロ』

国際社会で活躍を期待される若い世代の学生や社会人の日本訪問や留学などでの日本滞在中に、日常生活の相談やメンタル面のケアなど、様々なサポートを行っています。こうした細やかなサービスが提供できるのは、卓越した異文化コミュニケーションスキルを持ったプロフェッショナルがいるから。参加者の心をつなぎ、質の高い事業を提供しつつ若者および社会の明るい未来を築くお手伝いをしています。



『すべての事業をつなぐ、決意の言葉』

JICEの組織としてのあり方を表現した、ミッションステートメントとキャッチフレーズ。すべての事業の根本であり、私たちの行動指針でもあります。

ミッションステートメント 私たちは、「人材育成のプロ集団」として、共に学びあい理解を深めながら、国際社会の課題解決に取り組む人材を育成し、平和で豊かな地球社会の実現に貢献します。

キャッチフレーズ 知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。



知をつなぐ。 世界をつなぐ。 未来をつなぐ。



一般財団法人 日本国際協力センター

人材育成のプロ集団として。

1977年の設立以来、主に国の発展を担う人材の育成を支援してきたJICE。国際研修や海外への専門家派遣などを通じ、日本が育んできた技術、知識、経験を世界の人々へ、そして次世代を担う若者たちへ伝えてきました。私たちの活動は、平和で豊かな地球社会の実現につながるものと信じています。日本の知を、世界へ、未来へとつなぐ。JICEはこれからも、国際協力・交流の一翼を担っていきます。

留学生受入支援事業



国際研修事業



JICEのプロジェクトマネジメント

調査、企画、コンサルテーション、運営、評価

国際交流事業



多文化共生事業



多言語対応 日本語講習

JICEのプロジェクトマネジメントとは

私たちは、「人材育成のプロ集団」として、各事業において、プロジェクトの大小を問わず、**調査⇒企画⇒コンサルテーション⇒運営⇒評価**、さらには、**改善**や**フォローアップ**までを一貫して実施管理しています。このようなJICEのプロジェクトサイクルを通じ、各プロジェクトの対象となる人材は、課題解決に向けた方策や日本の「知」を学び、プロジェクトの成果を高めています。

JICEでは、このようにお客様のニーズに沿った形で、プロジェクトの効果発現が最大化するノウハウを有しています。

概要

名称	一般財団法人 日本国際協力センター JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION CENTER (JICE: ジャイス)
代表者	山野 幸子
設立 / 沿革	1977年3月25日 「財団法人 国際協力サービス・センター」として設立 1993年2月 1日 「財団法人 日本国際協力センター」に名称変更 2013年4月 1日 「一般財団法人 日本国際協力センター」に名称変更
目的	我が国と諸外国との互恵関係の強化に関連する事業を通じて、国際社会の発展に寄与すること
組織の規模	事業規模 9,407百万円(2016年度) 常勤スタッフ 303名(2018年4月現在)
特別会員制度	特別会員は、JICEの設立趣旨と事業目的に賛同する団体などによって構成されています。(2018年4月現在 104団体)

人と人をつなぐ、8つの取り組み。

留学生受入支援



各大学と連携して、開発途上国や中東諸国などからの留学生受入を支援しています。海外および国内のネットワークを活用して、留学生の募集選考や来日前の手続、留学中の学業から日常生活のケアにいたるまで、留学生が学位を取得するための様々なサポートを行っています。受け入れた留学生が所定の期間内に学位を取得し、多くのものを日本から学び、母国の発展に貢献していくことを支援しています。

国際交流



世界各国と日本の青少年を対象とした国際交流事業を実施しています。日本各地での学校交流やホームステイ、文化体験など、地域の方々と直接ふれあう双方向の国内交流プログラム、また日本の青少年の海外派遣、国際学生会議などの企画運営を行い、青少年の国際理解や世界との共同体意識を深めています。

通訳派遣



31の言語に対応可能なJICEの専門スタッフが国際会議、研修、視察や表敬などの現場で通訳として活躍しています。JICEの通訳は文化的・社会的背景の違いをふまえて、円滑な意思疎通の橋渡しをするのが特長です。海外での国際会議通訳や開発途上国への同行通訳などにも対応しています。

プロジェクト支援



海外で行われる様々なプロジェクトの現場と国内関係機関をつなぎ、会議やシンポジウムなどの運営および日本国内における技術研修の実施など、プロジェクトの効率的な運営管理を総合的に支援しています。また、開発援助の動向などの情報収集やデータベースの整備など、あらゆるニーズに柔軟かつ迅速に対応しています。

国際研修



海外から研修生や視察者を招いて行う国際研修を企画・運営しています。実施にあたっては、研修内容の企画立案から、研修全体の進捗管理、通訳および同行、さらには、研修生の理解を深めるためのファシリテーションなど、目的に応じた対応を行います。日本の技術や経験を研修生の国の課題解決に役立てるため、それぞれの研修生の目標達成を支えています。

多文化共生



日本では200万人以上の外国人が生活しています。JICEは、定住外国人向けの日本語講習、留学生への就労支援などに取り組むとともに、外国人住民向けの各種資料の翻訳や自治体での多文化共生講座への講師派遣なども行っています。国際協力で培ったノウハウと人材を活かして、地域の多文化共生推進に貢献しています。

日本語教育



JICEの日本語講習は、実践的な日本語が短期間で習得できるよう、経験豊富な講師が効果的な講習を行います。研究者やビジネスパーソン、留学生、定住外国人のほか、海外での日本語講習にも対応いたします。それぞれの目的にあわせて日本文化や日本での生活に役立つ内容を盛り込むなど、カリキュラムを工夫しています。

社会貢献



中学校、高校や大学などで実施されている国際理解教育の現場などへ講師を派遣しています。来る東京オリンピック・パラリンピックに向けた教育推進事業の一環として、異文化理解を促進し、国際協力の現場を肌で実感し学んでもらえるプログラムを提供しています。また、多文化共生のための翻訳サービスや国際的イベントへの出展・後援を通じて私たちの持つ知識と思いを社会にお伝えしています。